

## 【イタリア】上下両院選挙法と2022年選挙結果

主任調査員 総合調査室 芦田 淳

\* 2022年9月25日、イタリアでは上院及び下院の繰上選挙が実施され、中道右派連合が両議院で過半数の議席を獲得した。2017年に導入された小選挙区比例代表混合制の適用において、今回は小選挙区制の影響が強く出た選挙結果となった。

### 1 現行選挙法

#### (1) 従来からの変更点

今回の選挙は、2020年憲法改正<sup>1</sup>により、下院議員の定数が630から400、選挙で選ばれる上院議員<sup>2</sup>の定数が315から200に削減されてから、最初の選挙であった。憲法<sup>3</sup>及び現行選挙法<sup>4</sup>は、この定数のうち在外選挙区で選ばれる数を明示し、残りの数の8分の3を小選挙区制、8分の5を比例代表制で選ぶと定めている。その結果、下院は、在外選挙区8、小選挙区147、比例区245、上院は、在外選挙区4、小選挙区74、比例区122という定数配分がなされている。また、2021年憲法改正<sup>5</sup>により、上院の選挙権年齢が引き下げられてから初めての選挙でもあった。現在の選挙権年齢は両議院とも18歳、被選挙権年齢は下院25歳、上院40歳である。

#### (2) 投票方法及び議席配分

投票は、投票用紙に記載された「小選挙区の候補者と比例区の候補者名簿（又は候補者名簿連合）のグループ」を単位として行われる。小選挙区と比例区で、別のグループから選択することはできない。他方、議席配分計算は、小選挙区部分と比例代表部分で相互に独立して行われる。小選挙区部分は、各小選挙区で最多得票した候補者が当選する。比例代表部分は、候補者名簿の得票に応じて議席配分が行われる。比例代表部分には、候補者名簿は原則として全国で有効投票の3%以上を獲得しなければならない等の阻止条項<sup>6</sup>も設けられている。

### 2 2022年選挙結果

今回の選挙では、中道右派連合が両議院で過半数の議席を獲得した<sup>7</sup>。小選挙区部分で中道右派連合と中道左派連合に大差がついており、得票率に鑑み、仮に比例代表制のみであれば過半

\* 本稿におけるインターネット情報の最終アクセス日は、2022年10月11日である。

<sup>1</sup> 詳細は、芦田淳「【イタリア】国会議員の定数削減に関する憲法改正国民投票」『外国の立法』No.285-2, 2020.11, pp.20-21. <[https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_11570696\\_po\\_02850210.pdf?contentNo=1](https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11570696_po_02850210.pdf?contentNo=1)> を参照。

<sup>2</sup> 上院には、大統領の任命によるものなど、若干ではあるが選挙によらない議員も存在する（本稿執筆時点では6名）。

<sup>3</sup> Costituzione della Repubblica Italiana. 該当条文は、第56条及び第57条である。以下、イタリアの法令の条文に関しては、同国の法令ポータルサイト（Normattiva website <<http://www.normattiva.it/>>）を参照した。

<sup>4</sup> D.P.R. 30 marzo 1957, n.361, Approvazione del testo unico delle leggi recanti norme per la elezione della Camera dei deputati; D.Lgs. 20 dicembre 1993, n.533, Testo unico delle leggi recanti norme per l'elezione del Senato della Repubblica. 該当条文は、それぞれの第1条である。

<sup>5</sup> 詳細は、芦田淳「【イタリア】上院選挙権年齢の引下げ—2021年憲法改正—」『外国の立法』No.290-2, 2022.2, pp.22-23. <[https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_12088689\\_po\\_02900210.pdf?contentNo=1](https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_12088689_po_02900210.pdf?contentNo=1)> を参照。

<sup>6</sup> 阻止条項とは、小党分立を防ぐため、一定の得票に満たなかった候補者名簿に議席配分を認めない規定である。

<sup>7</sup> 以下、本段落の選挙結果に関する記述は、別に出典を挙げない限り、Ministero dell'Interno, “Eligendo – Politiche 25 settembre 2022.” <<https://elezioni.interno.gov.it/camera/scrutini/20220925/scrutiniCI>>; “Eligendo – L’Archivio storico delle elezioni: tutti i risultati dal 1946 a oggi.” <<https://elezionistorico.interno.gov.it/>> に基づいている。

数に至らなかったことがうかがえる<sup>8</sup>。民主党を中心とする中道左派にとって、小選挙区部分で勝利するためには、いずれも民主党出身のカレンダ (Carlo Calenda) とレンツイ (Matteo Renzi) による「行動—イタリア・ヴィヴァ (Iv)」や、「5つ星運動」と協力関係を構築することも考えられたが、実現しなかった。他方、中道右派連合内では、「イタリアの同胞」が、「同盟」に代わり、国政選挙で初めて連合内の第1党となった。また、5つ星運動は、南部を中心に一定の勢力を維持した。このほか、選挙全体の投票率が、下院は63.79%、上院は63.69%と、戦後最低となったことも特筆される。下落の要因について、政治学者のダリモンテ (Roberto D'Alimonte) は、選挙当日の悪天候や選好投票<sup>9</sup>の廃止 (2017年) のほか、政党が弱体化し、投票に行く習慣を持たない若年層を動員できなくなったことが最も大きいと指摘している<sup>10</sup>。

表1 2022年上下両院選挙における議席数 (2022年9月28日時点)

候補者名簿等	下院				上院			
	小選挙区	比例区	在外選挙区	合計	小選挙区	比例区	在外選挙区	合計
中道右派連合	121	114	2	237	59	56	0	115
中道左派連合	12	68	4	84	5	34	3	42
5つ星運動	10	41	1	52	5	23	0	28
行動—Iv	0	21	0	21	0	9	0	9
その他	4	1	1	6	5	0	1	6
合計	147	245	8	400	74	122	4	200

(出典) Ministero dell'Interno, "Eligendo – Politiche 25 settembre 2022." <<https://elezioni.interno.gov.it/camera/scrutini/20220925/scrutiniCI>> を基に筆者作成。

表2 国内比例区における得票数、得票率及び議席数 (2022年9月28日時点)

候補者名簿		下院			上院		
		得票	得票率	議席	得票	得票率	議席
中道右派連合	イタリアの同胞	7,302,517	26.00%	69	7,167,136	26.01%	34
	同盟	2,464,005	8.77%	23	2,439,200	8.85%	13
	フォルツァ・イタリア	2,278,217	8.11%	22	2,279,802	8.27%	9
	我ら穏健主義者	255,505	0.91%	—	243,409	0.88%	—
	小計	12,300,244	43.79%	114	12,129,547	44.02%	56
中道左派連合	民主党	5,356,180	19.07%	57	5,226,732	18.97%	31
	緑と左翼の同盟	1,018,669	3.63%	11	972,316	3.53%	3
	その他 (2候補者名簿計)	963,126	3.43%	—	962,640	3.49%	—
	小計	7,337,975	26.13%	68	7,161,688	25.99%	34
5つ星運動		4,333,972	15.43%	41	4,285,894	15.55%	23
行動—Iv		2,186,747	7.79%	21	2,131,310	7.73%	9
その他 (下院は13、上院は12の候補者名簿計)		1,928,947	6.87%	1	1,845,871	6.70%	—
合計		28,087,885	100%	245	27,554,310	100%	122

(出典) Ministero dell'Interno, "Eligendo – Politiche 25 settembre 2022." <<https://elezioni.interno.gov.it/camera/scrutini/20220925/scrutiniCI>> を基に筆者作成。

<sup>8</sup> 投票方法が一票制 (1(2)参照) のため、得票率は、小選挙区部分と比例代表部分で原則として変わらない。

<sup>9</sup> 選好投票とは、候補者名簿内でどの候補者を当選させたいかについて有権者が選択できる制度である。

<sup>10</sup> Luca Salvioli, "L'affluenza crolla al minimo storico (63,9%). In Calabria ha votato solo il 50,8%," *Il Sole 24 Ore*, 26 settembre 2022. <<https://www.ilsole24ore.com/art/l-affluenza-crolla-minimo-storico-64percento-d-alimonte-italia-i-paesi-europei-dove-si-vota-meno-AEQ9DJ3B>>